

# カイロス *καίρος*



## 鎌倉市福祉協議会主催の 南三陸町ボランティアに参加して



今回は二十二名の参加者から高2の窪倉麻莉子さん、小久保舞さん、中村薫さん、中村萌さん、長森芽生さん、藤村なほさん、山田桃子さんに話を伺いました。

きっかけを探していたこと、高校生に参加しやすい条件が揃っていたことが参加の決め手

長森：ボランティア先を探していましたが、高校生で行けるタイプの募集は殆どなく、個人で行ってもすることはないと言われていたので、今回の募集は公の機関主催だったし、本当によかったです。

藤村：たしかに、この条件は参加しやすかったです。親も安心して送り出してくれました。なるべく時間が経たないうちに現地に行きたいと思っていたので…。



前列左より 長森、中村(萌)、窪倉  
後列左より 小久保、山田、藤村、中村(薫)

中村萌：五月に父が南三陸町に一日ボランティアに行きました。話を聞いても実感が湧きません。父からは、自分で探して、自分で行って、自分で見て聞くのがいいよと言われ、気になっていました。

小久保：私には仙台市の隣の多賀城市に住んでいる友人がいるので、東北は身近に感じていました。自分ができるのは募金ぐらいだったので、今回行くことにしました。

中村薫：祖母の兄弟や親戚が仙台や石巻にいます。親戚は被害に遭いませんでした。近所には震災の犠牲になった方がいます。自分からボランティア先を探すまでではなかったのですが、応募を知り、何らかの形で役に立ちたいと思ったので参加しました。

窪倉：被災地の報道が減り、或いは復興が進んでいるニュースだけが流れているので、実際に自分の目で見て考えたいと思っていました。

山田：岩手に住んでいる友人と、震災後連絡が取れず、その後、四日間停電だった話を聞きました。テレビでは分からない事実を自分の目で見てきたいという思いは前からあったので、今回の募集が具体的に動くきっかけになりました。

仕事内容は、主にビニールハウスの内の整備。山から持ってきた、畑に敷き直すための土から岩を取り除く作業や、草むしりをしました。

長森：土の中には岩だけでなく、栄養分を含んだ、一見岩のような粘土が混ざっているのです、それを叩いて選り分ける作業を丸二日しました。一日目で掌に豆ができました。



土から取り除いた石



取り出した石は舗装に使われた

窪倉：一日目の午後の時点で、既に全身筋肉痛になってました。

山田：取り除いた岩をビニールハウスの外に運び出す際に、その岩を敷き詰めて道を作りました。とにかく暑くて、おやつのおアイスが美味しかった。近くの川で道具を洗うついでに、少し川遊びもしました！ボランティアの最終

ティアの最終



整地したビニールハウスで菊栽培が始まった